

## 水産物の市況について(平成30年3月及び4月)

—東京都中央卸売市場における平成30年3月(平成30年2月21日～平成30年3月20日集計)の市況と、  
平成30年4月の市況見通し(前月との比較)—

### I 平成30年3月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量(水産物の生鮮品、冷凍品及び加工品の合計)は前月と比べやや減少となり、卸売価格(水産物全体の1キログラム当たり平均価格)は前月と比べやや強含みに推移しました。

### II 平成30年4月の主要品目の市況見通し

#### 「まいわし(生鮮品)」

入荷量は北陸～山陰で水揚げが好調なことから前月並みと見込まれ、卸売価格は横ばいに推移すると見込まれます。

#### 「さけ・ます(塩蔵品・冷凍品)」

入荷量は新物の三陸のギンザケは増加するものの、チリギンを始めとする他のサケ類は今月並みと見込まれ、卸売価格は横ばいに推移すると見込まれます。

#### 「さば(生鮮品)」

入荷量は鮮魚向けサイズの水揚げが少ないことから前月と比べやや減少すると見込まれ、卸売価格はやや強含むと見込まれます。

#### 「するめいか(生鮮品・冷凍品)」

入荷量は前月と比べ生鮮は端境期を迎えることからやや減少、冷凍は横ばいと見込まれ、卸売価格は生鮮はやや強含み、冷凍は横ばいに推移すると見込まれます。

#### 「あじ(生鮮品)」

入荷量は前月と比べやや増加すると見込まれるものの、卸売価格はやや弱含むと見込まれます。

#### 「まぐろ(冷凍品)」

入荷量は前月と比べ増加すると見込まれるものの、卸売価格は横ばいに推移すると見込まれます。

#### 「かつお(生鮮品)」

入荷量は漁場が近くなることから前月と比べ増加すると見込まれ、卸売価格はやや弱含むと見込まれます。

#### 凡例(目安)

増減率	入荷量	卸売価格
0～2%	並み、横ばい	横ばい
3～10	やや増加(減少)	やや強(弱)含み
11～20	増加(減少)	強(弱)含み
21～50	かなり増加(減少)	かなり強(弱)含み
51～	大幅に増加(減少)	—

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格(概数)

(単位:千トン、円/kg)

	3月		前月		前々月	
	入荷量	価格	入荷量	価格	入荷量	価格
30年	33	1,069	40	1,047	36	1,258
前年	32	1,061	36	1,067	35	1,230

注1:入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。

注2:入荷量は生鮮品、冷凍品及び加工品の合計。

主要品目の価格

(単位:円/kg、%)

	東京都中央卸売市場卸売価格(概数)			
	3月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
いわし(生鮮品)	249	81	82	75
さけ・ます(平均)	929	100	91	117
(ぎんざけ塩蔵品)	1,002	100	99	125
(あきさけ塩蔵品)	767	100	118	140
(ときさけ塩蔵品)	1,062	100	108	126
(べにざけ塩蔵品)	1,238	100	117	122
(さけ類冷凍品)	870	100	86	114
さば(生鮮品)	567	128	121	133
するめいか(平均)	758	99	85	138
(生鮮品)	743	99	84	121
(冷凍品)	809	100	89	170
あじ(生鮮品)	779	135	127	125
まぐろ(冷凍品)	1,585	98	101	116
(めばち冷凍品)	1,145	98	99	118
(きはだ冷凍品)	1,319	101	137	149
(くろまぐろ冷凍品)	3,184	101	102	90
(みなみまぐろ冷凍品)	2,027	98	94	98
かつお(生鮮品)	873	144	112	121

注1:品目により、市場で主流となる形態が異なることから、市況を把握する指標としてもっとも適当な形態についての価格データを掲載している。

注2:3月の価格は1~20日までの速報値を元に算出。平年とは平成25年~29年の加重平均値。

注3:さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、ときさけ、べにざけ及びアトランティックサーモンが含まれる。

注4:さけ・ます(平均)は、さけ・ます類全般の塩蔵品及び冷凍品が含まれる。

注5:まぐろ(冷凍品)は、めばち、きはだ、くろまぐろ及びみなみまぐろが含まれる。

問合せ先:水産庁加工流通課企画調査班

代表 03-3502-8111

内線 6617 井場、山崎、小山

直通 03-3591-5612